

# カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2011. 9- 1)

香川県水産試験場 藤原 宗弘  
TEL: 087-843-6511

## 調査方法

調査日: 9月5日 時間8:30~12:00 (備讃瀬戸は9月1日)

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2定点

## 【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	13点平均値
2009.9.2	1	0	0	304	8	0	90	0	0	7	0	0	0	0	37.3	29.3
2010.9.2	0	0	54	21	0	31	71	0	0	0	0	0	0	20	16.1	14.1
2011.9.5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0.1	0.1

## 【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

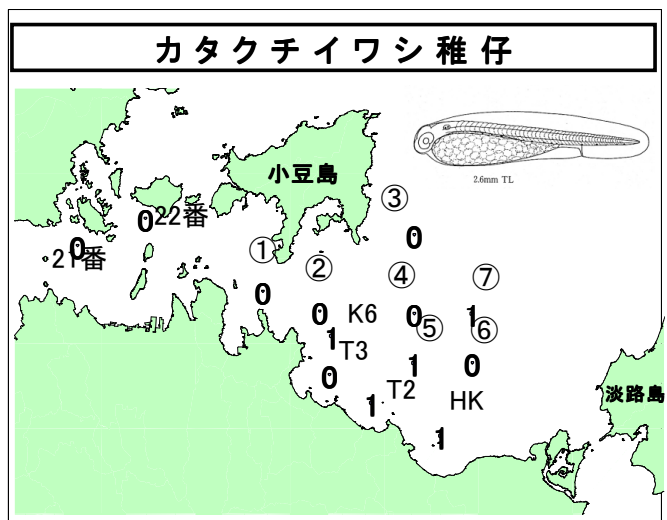
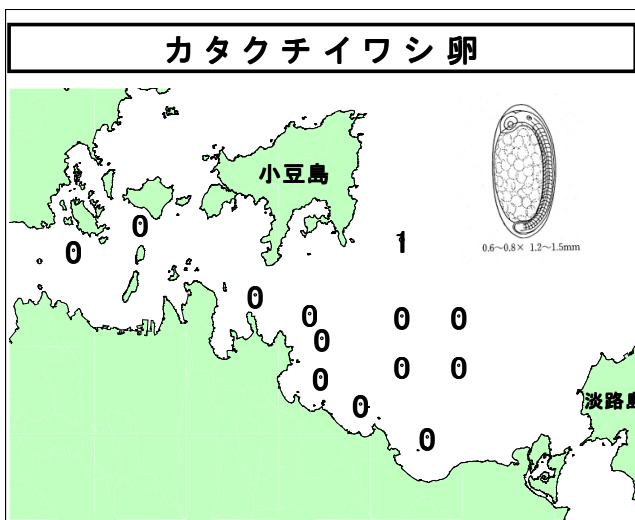
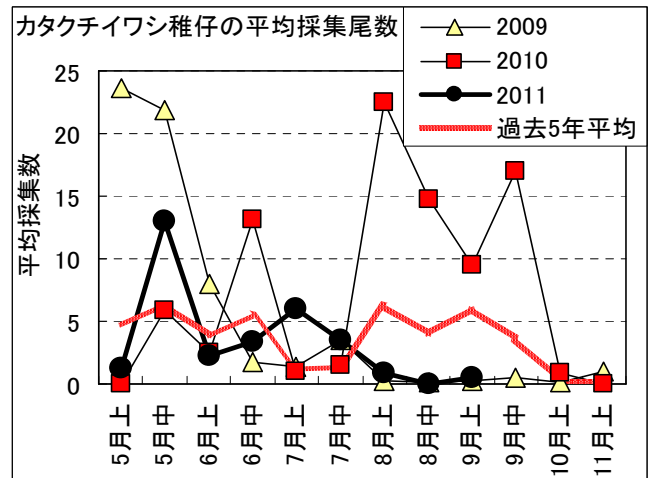
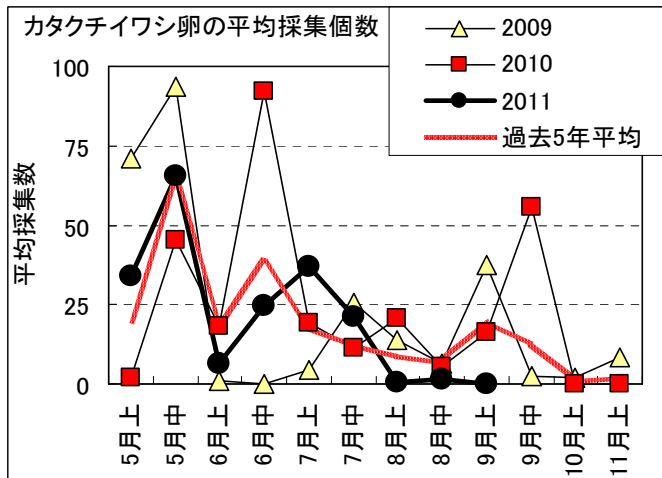
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	13点平均値
2009.9.2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0.3	0.2
2010.9.2	0	8	11	22	8	18	30	2	3	3	0	0	0	6	9.5	7.9
2011.9.5	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	-	0.5	0.4

\* 表中の「-」は未測定を表す。

\* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸を除く)。

\* 13点平均値: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2定点の平均値を表す。

\* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を現す。

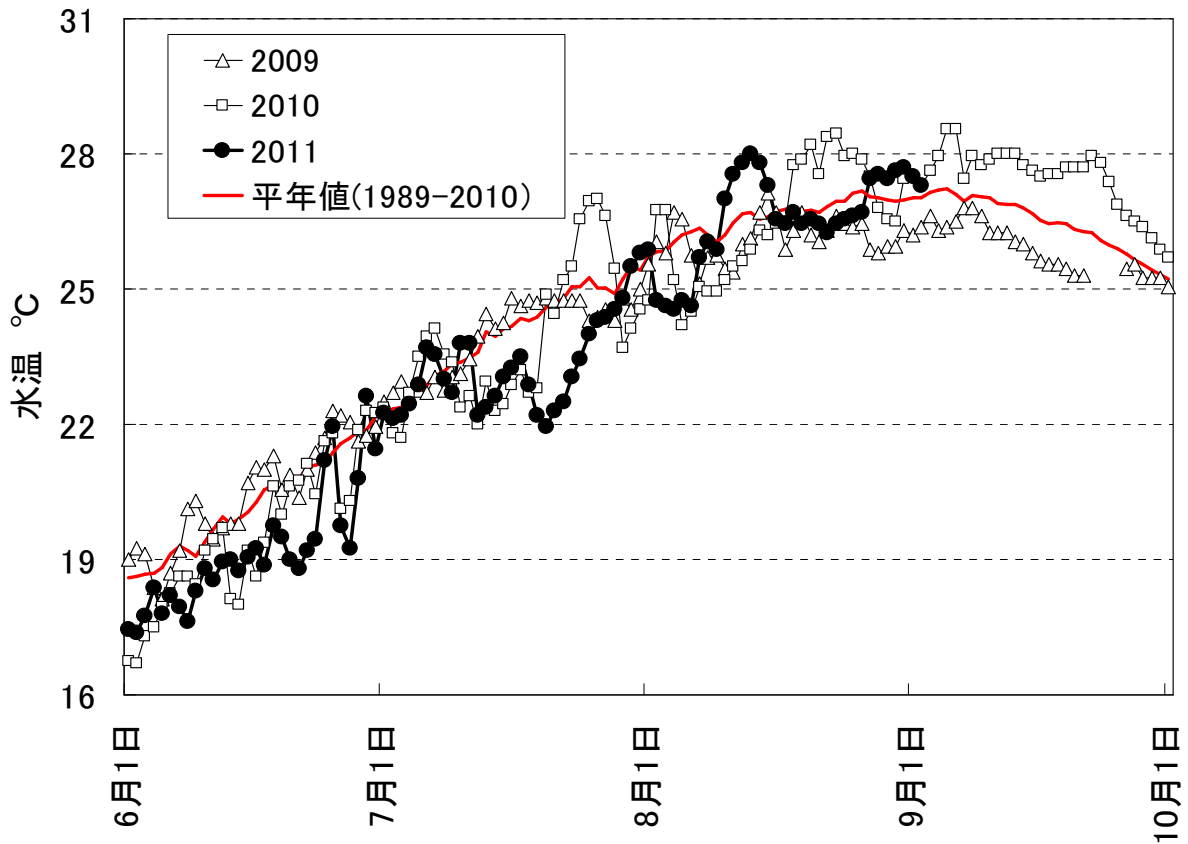
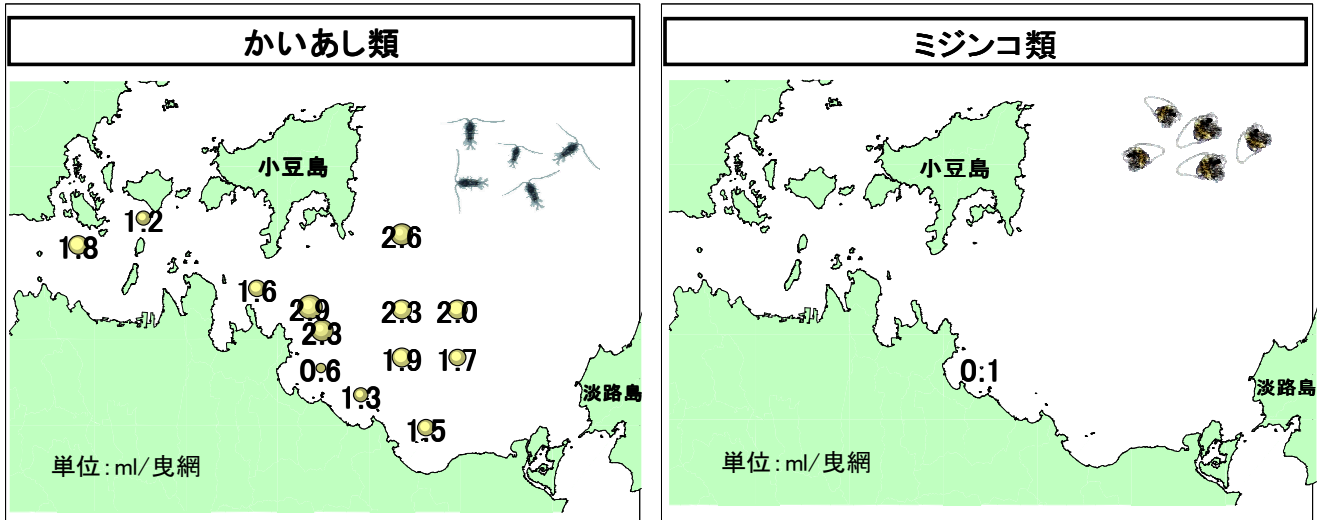


播磨灘11定点における卵の平均出現数は0.1個、稚仔の平均出現数は0.5個となり、昨年・平年同時期を下回った。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、7月中旬以降は平年より低めに推移していたが、8月10日頃やや高くなったものの、その後はほぼ平年並になった。9月2日の台風の影響によって、水温が測定不能となり、現在復旧中。

餌料生物として重要なかいあし類は、前回より増加傾向で、11点の平均は1.88mL/曳網であった。

【参考】



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>